

新型コロナウイルス感染症に対応した臨時休業中の過ごし方について

1 健康で安全な生活を送るために

- (1) 規則正しい生活を送り、望ましい生活習慣を維持できるようにする。
- (2) 臨時休業中、不要不急の外出を控え、自宅で過ごすようにする。
- (3) 運動不足となることも考えられるため、健康保持の観点から、「3密」を避け、十分な準備運動を行った上での適度な運動を推奨する。
- (4) 感染拡大防止の観点から、自宅でも検温等の健康観察を行い、健康状態の確認を継続するとともに、下記のような症状がある場合は、帰国者・接触者相談センターに相談する。

- ・ 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く場合（解熱剤を飲み続けなければならない場合も同様）
 - ・ 強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合
- ※ 基礎疾患がある生徒において、上記の状態が2日程度続く場合は、帰国者・接触者相談センターに相談し指示に従う。

- (5) 医療機関において新型コロナウイルスに感染していると診断された場合は、速やかに家庭から学校へ連絡を入れる。

2 学習について

- (1) 休業中の学習目標や具体的な学習計画を立てながら、見通しを持って学校からの学習課題等を中心に家庭学習に取り組む。
- (2) パソコンやタブレット端末等による個別学習が可能なシステムを活用できる場合は学習活動に取り入れる。
- (3) 本や新聞を読んで物事を考えることや、社会の一員としての当事者意識を持って将来の目標を考える。

3 部活動について

- (1) 部活動は中止とする。